

【修了生からひとこと】

藪谷 祐希 君

タイ、カセサート大学 化学工学部 触媒化学研究室

研修期間:2010年8月9日～9月7日



私が国際インターンシップに参加したきっかけは昨年度の国際インターンシップでタイに行った友人の経験を聞いたときに自分も行きたいと決意し申し込みをしました。

タイに行くことが決定してから約1ヵ月間国際交流センターでタイの留学生にタイ語の先生をしていただき、簡単な挨拶から日常会話まで様々なタイ語を教えていただきました。この授業で学んだことが実際にタイに行ってからコミュニケーションに大きく役立ちました。

自分がタイに行ったのは日本の8月から9月の間でその頃のタイの季節はちょうど雨季でした。毎日1-2時間ぐらい土砂降りの雨がありました。道路は川になるほどに水があふれかえっていました。最初は日本の梅雨を想像していたのでタイの雨季は凄いと実感しました。

研修内容として、平日は研究発表を聞いたり、雑誌会をしたり、タイの企業の工場見学に出かけたりして日々を過ごし、夜には研究室のメンバーと夕食に出かけ辛くて美味しいタイ料理を食べました。週末には友達に旅行連れていってもらったり、買い物に出かけたり、一人でバスに乗って観光したりいろんなことをしました。

自分はあまり英語が得意な方ではなかったけど、日常会話は簡単な単語やタイ語を使ったりしてコミュニケーションがとることができ大きな苦労はしませんでした。しかし、専門用語などが多くある研究発表の質疑応答など細かいところまで聞く必要がある時に全くついて行けず、もっと英語に慣れるべきだと感じました。また、覚えたてのタイ語でバイクタクシーに乗ったり、バスに乗ったり、レストランで注文したりと実践で使うことでよりタイ語を覚えることができました。

インターンシップ後、将来もタイに関わる仕事がしたいと考えるようになり、就職活動でもインターンシップの話がたくさんしました。この経験が自分の力になりました。今後、仕事や旅行でタイに行ったときにまたタイの友達に再会したいです。

この国際インターンシップは多くの貴重な経験をすることができました。さらに、タイの友達がたくさんできました。タイの友達は自分の大切な友達になっています。さらに、自分をステップアップさせることのできる機会でした。今後もたくさんのインターンシップ生がタイの学生との架け橋になりそれぞれの成長につながればと思います。